

2025年9月5日

引き続き、適切なマスクの着用を。

当社がマスクの生産を開始して以来、呼吸器系の感染症は幾度となく発生してきました。

1957年のアジア風邪(インフルエンザ)をはじめ、21世紀に入ってから2003年のSARS、2009～2010年の新型インフルエンザ(H1N1pdm)、そして2020～2023年の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)などが挙げられます。

このような感染症の流行を経て、日本におけるマスクの利用は時間をかけて定着し、公衆衛生意識の高まりとともに進化してきました。とくに風邪やインフルエンザの流行期には、医療機関に限らず、通勤電車内などでのマスク着用がエチケットとして広く受け入れられるようになりました。

新型コロナウイルスの流行時には、世界中でマスクの着用が求められましたが、日本は他国と比べて高い普及率を示し、感染拡大(拡散)防止に一定の効果があったものと考えられます。

マスクには、ガーゼや不織布などさまざまな素材や形状があり、それぞれに保温・保湿・防塵といった多様な特性があります。今後も、使用目的やシーンに応じて、適切なマスクをお選びいただき、快適かつ安心な日常生活をお過ごしいただければ幸いです。

横井定株式会社